令和８年度甲府南高等学校　第２回学校運営協議会

日　時：令和８年１０月２０日（火）16:10～17:10
場　所：山梨県立甲府南高等学校大会議室（１階）
（司会　教頭）

（１）開会の言葉（教頭）
（２）学校長挨拶
（３）会長挨拶
（４）議事（会長）　承認
・R9 年度、R10 年度の教育課程について
理数クラスのあり方について　理数教科とデータサイエンスを強化することをセットで進めると良い。
データサイエンスの強化は良いが、内容は保障できるのか。指導できる教員はいるのか。　→　情報科の教員が配置されているため、対応可能である。
・N-E.X.T.ハイスクールへの本校の取組
・授業改善について
・SSH の申請について
・DX ハイスクール事業の取組について
・働き方改革の在り方について
行事の精選は、生徒のアンケート等をもとにするなど、生徒の気持ちを一番にして欲しい。　→　行事後に生徒アンケートを行い、参考にしている。
・生徒支援について
・学校評価（中間評価）について
・その他
（５）報告事項（教頭）
・学校運営協議会の運営等に関する要綱の一部改定について
・生徒の活躍及び本校の教育活動の推進状況について
・その他
（６）意見交換
・社会の変化に対応していくことは負担が大きいが、南高には社会で活躍する人材を育てる使命があると考えている。Doing に偏よりがちであるが、Being つまりどうありたいかへの視点を期待する。
・授業見学をしたが、自習の時間も生徒がきちんとやっていて素晴らしい。
・ＰＴＡとして南高応援プロジェクトを通して、学校を支えていきたい。
・出し切って終わりではなく、豊かになるための時間を確保してほしい。やらなければいけないことよりも、学ぶ原点である面白がることを重視し大人が楽しむことを期待する。
・豊かな時間をつくるためには、やらないことをつくることが必要。勇気をもってやめていく決断をするべきである。
・陸上部の全国レベルの活躍は素晴らしい。
・陸上部の野沢さんのインターハイ優勝は快挙である。今後、陸上部への入部希望をもった中学生が集まってくることが期待できる。
・先生方にも個々の能力の違いがある。管理職がそれぞれの能力、考え方を把握して、業務量を調整する必要がある。

・学校の直面する課題に前向きに取り組んでいることは素晴らしい。子どもたちの心のケア、心の悩みにに対する相談・支援の充実に努めて欲しい。

【校長発言（要旨）】
・学校行事の精選
　来年度の学校行事については、行事一覧を作成して棚卸しを行いながら見直しを進め、行事の精選を検討している。
・部活動の在り方
　部活動の在り方は大きな課題であり、競技力向上と人間形成の両面を支えることのできる指導者の育成を進めていく。
・ＤＸハイスクール事業
　ＤＸハイスクール事業により各教室へプロジェクター型電子黒板を導入し、ICT 機器の活用を通じて授業改善、生徒の学習改善及び教職員の働き方改革につなげていく。
・生徒支援（SSR 設置）
　生徒のメンタル面のケアを本校の重要課題と捉え、SSR の設置に向けて県との協議を進めている。
・ＳＳＨ海外研修
　昨年度実施を見送った海外研修については、研修先をハワイとして準備を進めており、海外の研究機関や大学等に触れることで生徒の科学的・国際的視野を広げ、探究活動への意欲を高める機会とする。

（７）閉会の言葉（会長）

※今後の予定
　第３回学校運営協議会　令和９年　２月９日（火）

※参観が可能な学校行事（別途ご案内します）
・１２月１８日（金）歌声コンクール（午後）ＹＣＣ県民文化ホール
・２月５日（金）ＳＳＨ研究発表会（午後）